

#### 4 宮城の将来ビジョンにおける3つの政策推進の基本方向に関する調査分析結果

宮城の将来ビジョンで定めている政策推進の3つの基本方向ごとに、認知度及びさらに力を入れる必要があると考える取組について調査したところ、次のような結果となりました。

##### (1) 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

<概要>

■県全体

「内容について知っている」「言葉は聞いたことがある」を合わせた『認知群』は39.8%である。

■性別

男性の『認知群』は43.5%で、県全体より3.7ポイント低い。

女性の『認知群』は36.2%で、県全体より3.6ポイント低い。

■年代別

65歳未満の『認知群』は35.7%で、県全体より4.1ポイント低い。

65歳以上の『認知群』は51.9%で、県全体より12.1ポイント高い。

■地域別

沿岸部の『認知群』は36.4%で、県全体より3.4ポイント低い。

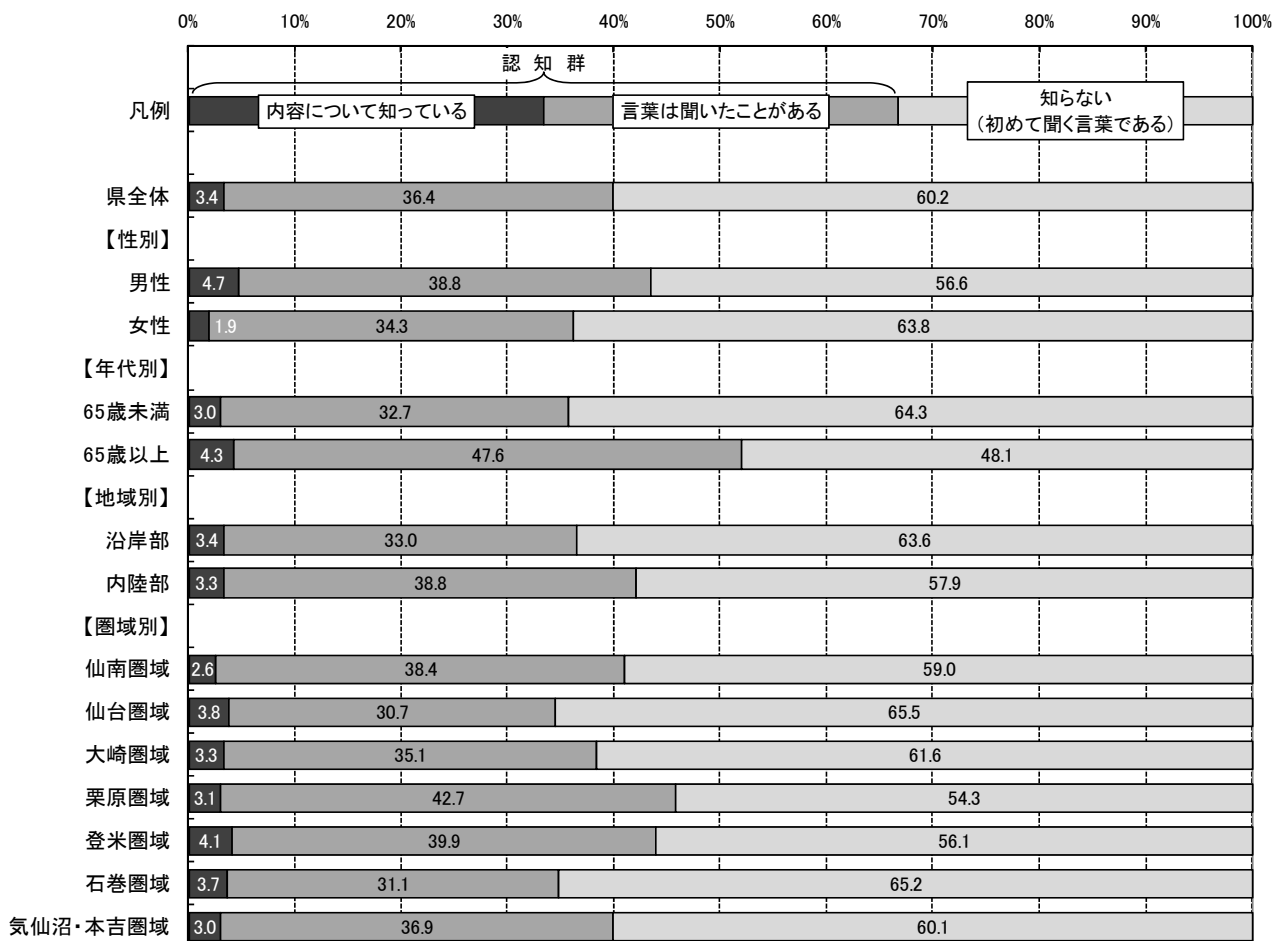
内陸部の『認知群』は42.1%で、県全体より2.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『認知群』は、仙台圏域が34.5%で県全体より5.3ポイント低く、栗原圏域が45.8%で県全体より6.0ポイント高い。

その他の圏域は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～ 認知度割合 (回答者属性別)



富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～ 認知度集計表 (回答者属性別)

		有 効			合計	欠 損 値	合 計
		内容について 知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない(は じめて聞く言 業である)			
県全体	度数 パーセント	66 3.3/3.4	710 35.0/36.4	1,172 57.7/60.2	1,948 96.0/100.0	82 4.0/	2,030 100.0/
<b>【性別】</b>							
男性	度数 パーセント	45 4.5/4.7	374 37.6/38.8	546 54.9/56.6	965 97.1/100.0	29 2.9/	994 100.0/
女性	度数 パーセント	19 1.8/1.9	335 32.6/34.3	623 60.6/63.8	977 95.0/100.0	51 5.0/	1,028 100.0/
<b>【年代別】</b>							
65歳未満	度数 パーセント	44 3.0/3.0	475 31.9/32.7	933 62.7/64.3	1,452 97.5/100.0	37 2.5/	1,489 100.0/
65歳以上	度数 パーセント	21 4.0/4.3	233 43.9/47.6	235 44.3/48.1	489 92.1/100.0	42 7.9/	531 100.0/
<b>【地域別】</b>							
沿岸部	度数 パーセント	27 3.3/3.4	263 31.8/33.0	506 61.3/63.6	796 96.4/100.0	30 3.6/	826 100.0/
内陸部	度数 パーセント	38 3.2/3.3	443 37.2/38.8	662 55.5/57.9	1,143 95.9/100.0	49 4.1/	1,192 100.0/
<b>【圏域別】</b>							
仙南圏域	度数 パーセント	7 2.6/2.6	103 37.9/38.4	158 58.1/59.0	268 98.5/100.0	4 1.5/	272 100.0/
仙台圏域	度数 パーセント	11 3.7/3.8	89 30.1/30.7	190 64.2/65.5	290 98.0/100.0	6 2.0/	296 100.0/
大崎圏域	度数 パーセント	9 3.2/3.3	97 34.2/35.1	170 59.9/61.6	276 97.2/100.0	8 2.8/	284 100.0/
栗原圏域	度数 パーセント	9 2.9/3.1	125 40.2/42.7	159 51.1/54.3	293 94.2/100.0	18 5.8/	311 100.0/
登米圏域	度数 パーセント	11 3.8/4.1	108 37.2/39.9	152 52.4/56.1	271 93.4/100.0	19 6.6/	290 100.0/
石巻圏域	度数 パーセント	10 3.5/3.7	85 29.9/31.1	178 62.7/65.2	273 96.1/100.0	11 3.9/	284 100.0/
気仙沼・本吉 圏域	度数 パーセント	8 2.8/3.0	99 35.2/36.9	161 57.3/60.1	268 95.4/100.0	13 4.6/	281 100.0/

上段：度数

下段：欠損値を含む合計からの割合/有効回答からの割合

## 【さらに力を入れる必要のある取組】

「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」において、さらに力を入れる必要のある取組について調査した。（複数回答可）

「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」を進めるための12の取組	
1	地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興
2	産学官の連携による高度技術産業の集積促進
3	豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興
4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興
5	地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現
6	競争力ある農林水産業への転換
7	地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保
8	県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進
9	自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成
10	産業活動の基礎となる人材の育成・確保
11	経営力の向上と経営基盤の強化
12	宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

### <概要>

■県全体及び属性別（性別・年代別・地域別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

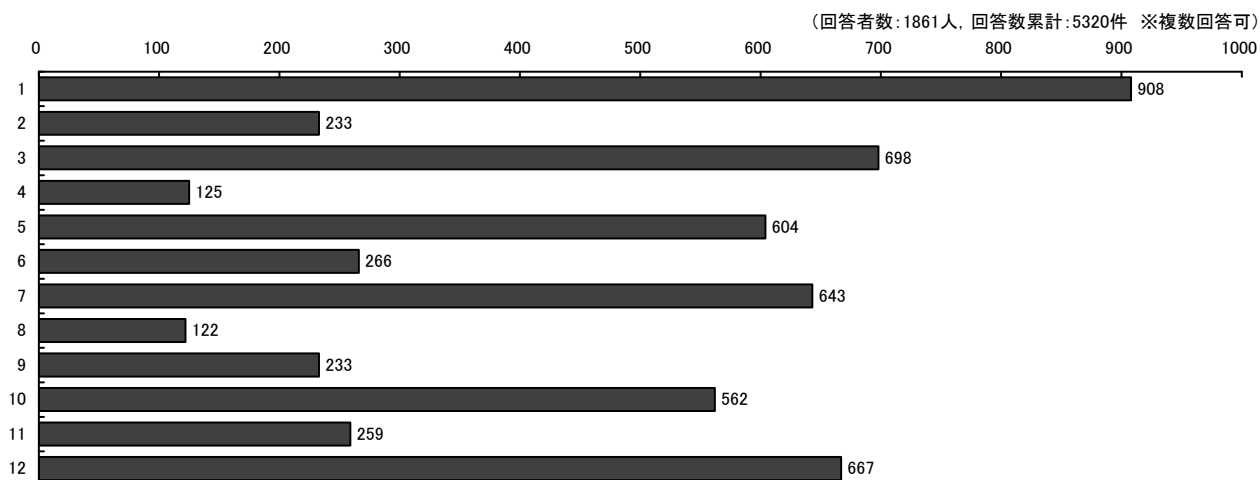
	◆県全体	■性別		■年代別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	1	1	1	1	1
第2位:	3	3	7	3	3
第3位:	12	12	3	7	12

	■地域別	
	沿岸部	内陸部
第1位:	1	1
第2位:	3	7
第3位:	12	3

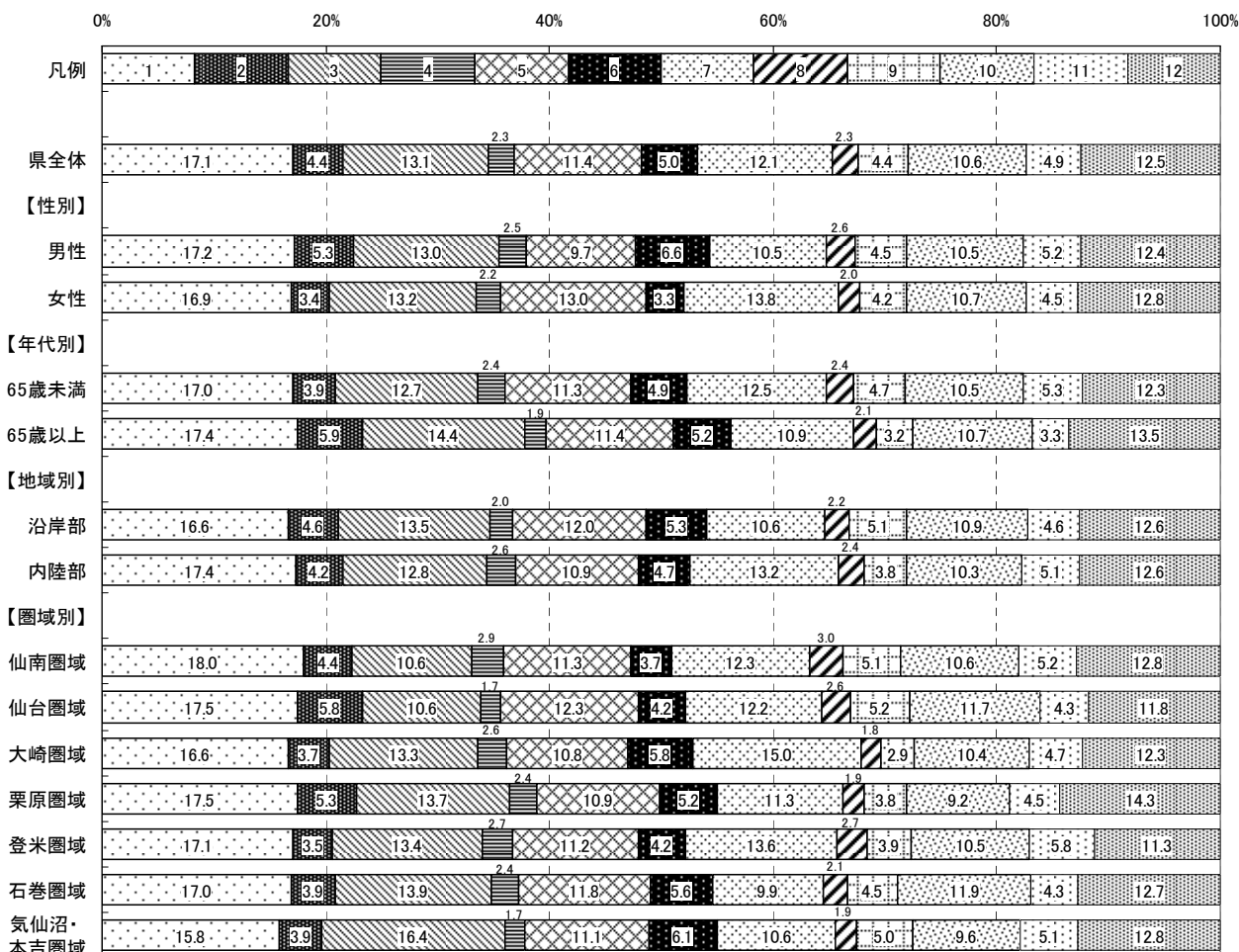
	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	1	1	1	1	1	1	3
第2位:	12	5	7	12	7	3	1
第3位:	7	7	3	3	3	12	12

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、取組番号を網掛けしている。

「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」  
さらに力を入れる必要のある取組回答数（県全体）



「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」  
さらに力を入れる必要のある取組回答割合（回答者属性別）



※本図は、回答数累計に占める各取組の回答数の割合を属性別に示したものです。

(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

<概要>

■ 県全体

「内容について知っている」「言葉は聞いたことがある」を合わせた『認知群』は47.9%である。

■ 性別

男性の『認知群』は46.7%で、県全体より1.2ポイント低い。

女性の『認知群』は49.1%で、県全体より1.2ポイント高い。

■ 年代別

65歳未満の『認知群』は43.5%で、県全体より4.4ポイント低い。

65歳以上の『認知群』は62.1%で、県全体より14.2ポイント高い。

■ 地域別

沿岸部の『認知群』は45.5%で、県全体より2.4ポイント低い。

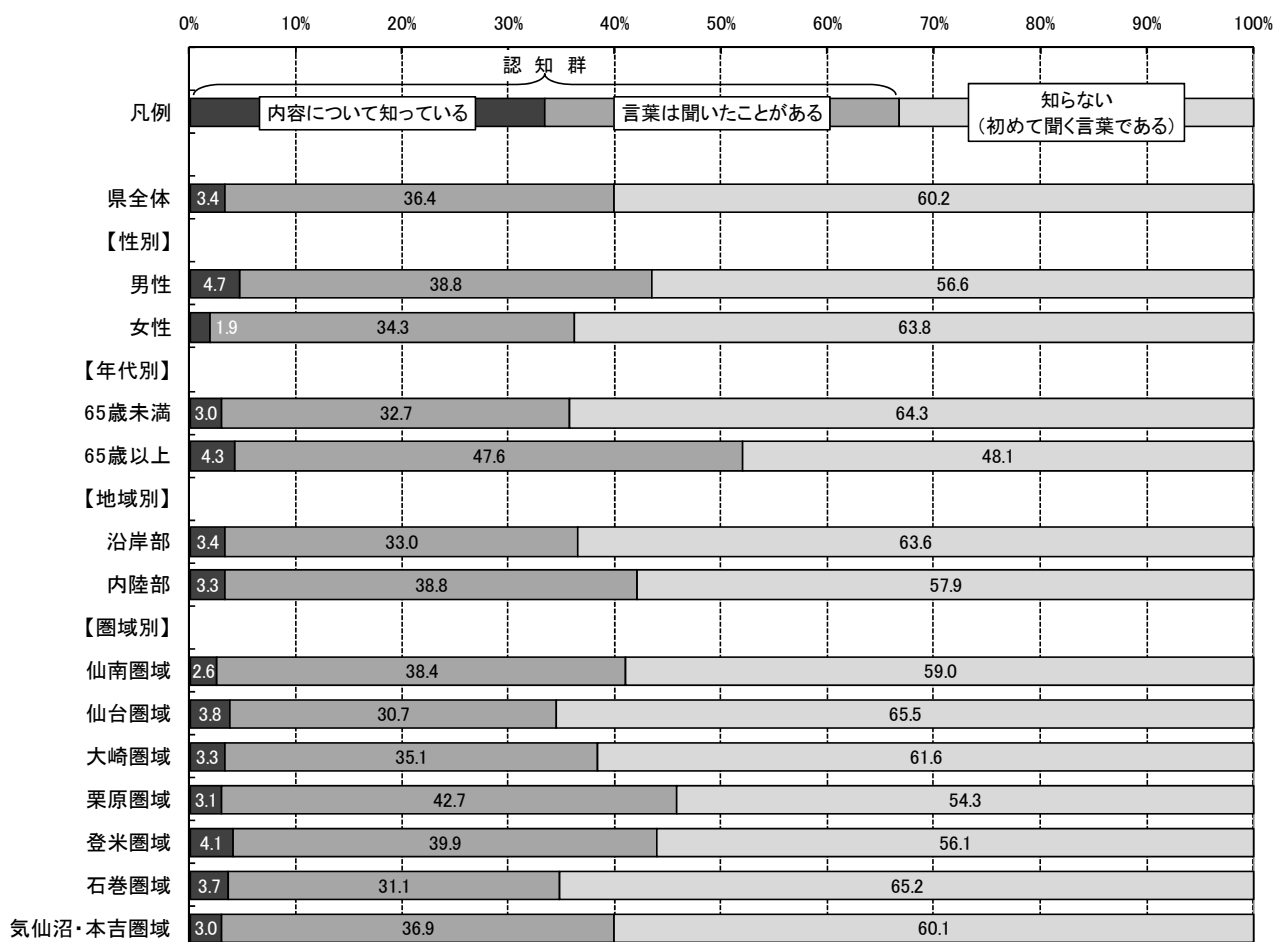
内陸部の『認知群』は49.6%で、県全体より1.7ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『認知群』は、仙台圏域が42.1%で県全体より5.8ポイント低く、栗原圏域が55.5%で県全体より7.6ポイント高い。

その他の圏域は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

安心と活力に満ちた地域社会づくり 認知度割合 (回答者属性別)



安心と活力に満ちた地域社会づくり 認知度集計表 (回答者属性別)

		有 効			合計	欠 損 値	合 計
		内容について 知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない(は じめて聞く言 葉である)			
県全体	度数 パーセント	73 3.6/3.9	829 40.8/44.0	980 48.3/52.1	1,882 92.7/100.0	148 7.3/	2,030 100.0/
<b>【性別】</b>							
男性	度数 パーセント	36 3.6/3.8	402 40.4/42.9	498 50.1/53.2	936 94.2/100.0	58 5.8/	994 100.0/
女性	度数 パーセント	37 3.6/3.9	426 41.4/45.2	479 46.6/50.8	942 91.6/100.0	86 8.4/	1,028 100.0/
<b>【年代別】</b>							
65歳未満	度数 パーセント	45 3.0/3.2	576 38.7/40.3	807 54.2/56.5	1,428 95.9/100.0	61 4.1/	1,489 100.0/
65歳以上	度数 パーセント	28 5.3/6.3	250 47.1/55.8	170 32.0/37.9	448 84.4/100.0	83 15.6/	531 100.0/
<b>【地域別】</b>							
沿岸部	度数 パーセント	29 3.5/3.8	318 38.5/41.7	416 50.4/54.5	763 92.4/100.0	63 7.6/	826 100.0/
内陸部	度数 パーセント	44 3.7/4.0	507 42.5/45.6	560 47.0/50.4	1,111 93.2/100.0	81 6.8/	1,192 100.0/
<b>【圏域別】</b>							
仙南圏域	度数 パーセント	10 3.7/3.9	113 41.5/43.8	135 49.6/52.3	258 94.9/100.0	14 5.1/	272 100.0/
仙台圏域	度数 パーセント	11 3.7/3.9	108 36.5/38.2	164 55.4/58.0	283 95.6/100.0	13 4.4/	296 100.0/
大崎圏域	度数 パーセント	10 3.5/3.7	120 42.3/44.4	140 49.3/51.9	270 95.1/100.0	14 4.9/	284 100.0/
栗原圏域	度数 パーセント	17 5.5/6.0	139 44.7/49.5	125 40.2/44.5	281 90.4/100.0	30 9.6/	311 100.0/
登米圏域	度数 パーセント	5 1.7/1.9	121 41.7/45.1	142 49.0/53.0	268 92.4/100.0	22 7.6/	290 100.0/
石巻圏域	度数 パーセント	10 3.5/3.8	103 36.3/39.5	148 52.1/56.7	261 91.9/100.0	23 8.1/	284 100.0/
気仙沼・本吉 圏域	度数 パーセント	10 3.6/4.0	121 43.1/47.8	122 43.4/48.2	253 90.0/100.0	28 10.0/	281 100.0/

上段：度数

下段：欠損値を含む合計からの割合/有効回答からの割合

## 【さらに力を入れる必要のある取組】

「安心と活力に満ちた地域社会づくり」において、さらに力を入れる必要のある取組について調査した。  
(複数回答可)

「安心と活力に満ちた地域社会づくり」を進めるための14の取組	
1	次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり
2	家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
3	着実な学力向上と希望する進路の実現
4	豊かな心と健やかな体の育成
5	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり
6	多様な就業機会や就業環境の創出
7	安心できる地域医療の充実
8	生涯を豊かに暮らすための健康づくり
9	高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり
10	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現
11	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興
12	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実
13	安全で安心なまちづくり
14	外国人も活躍できる地域づくり

### <概要>

■県全体及び属性別（性別・年代別・地域別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年代別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	1	1	1	1	1
第2位：	7	7	7	7	7
第3位：	13	13	13	13	9

#### ■地域別

	沿岸部	内陸部
第1位：	1	1
第2位：	7	7
第3位：	13	13

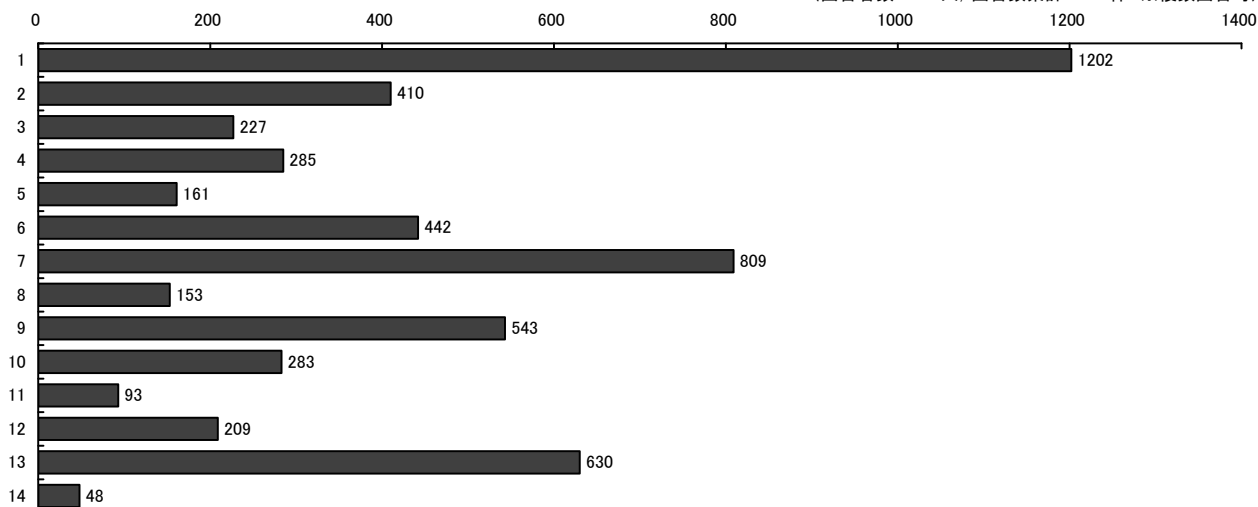
#### ■圏域別

	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	1	1	1	1	1	1	1
第2位：	7	7	7	7	7	7	7
第3位：	13	13	13	13	13	13	13

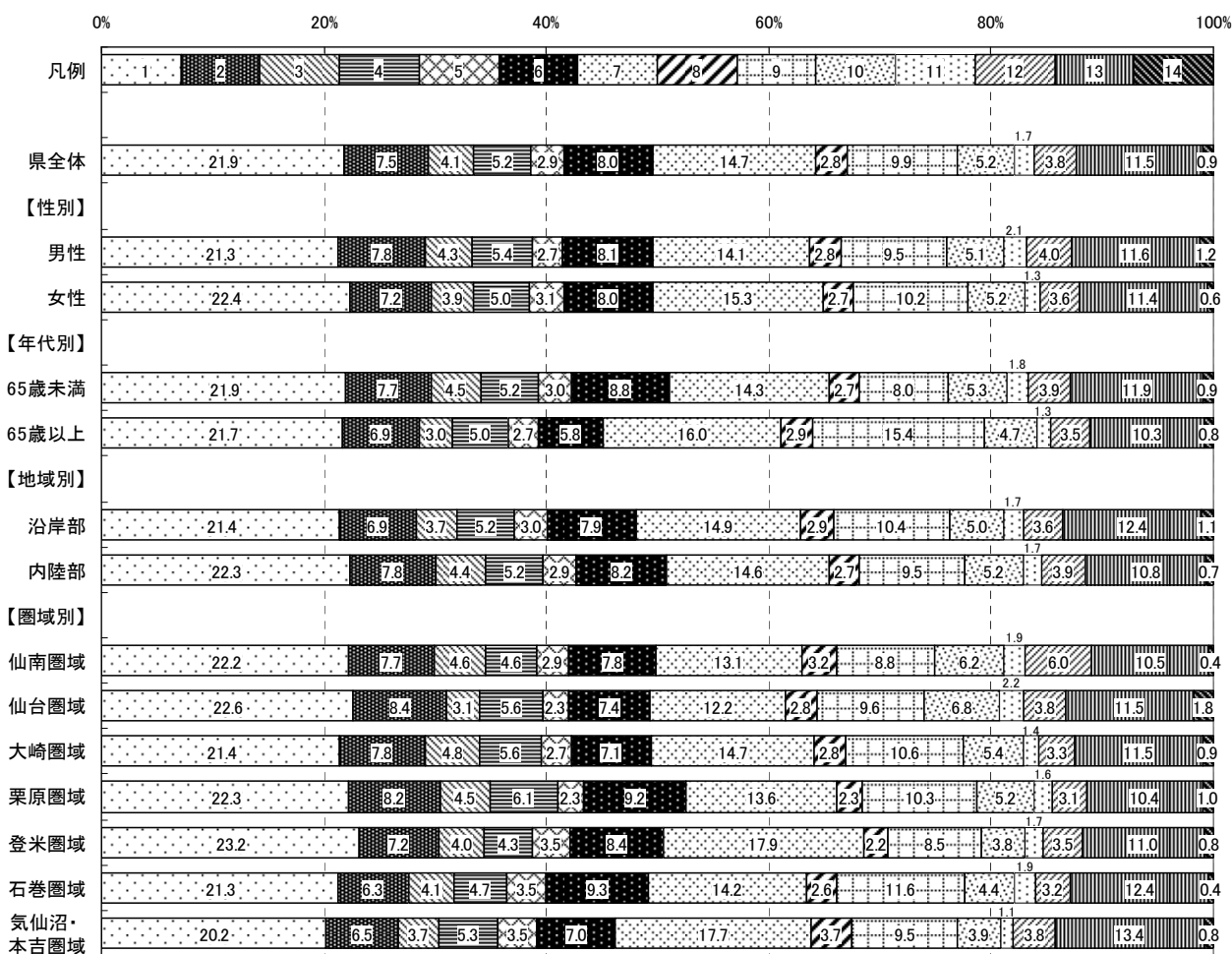
※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、取組番号を網掛けしている。

「安心と活力に満ちた地域社会づくり」  
さらに力を入れる必要のある取組回答数（県全体）

（回答者数：1889人、回答数累計：5495件 ※複数回答可）



「安心と活力に満ちた地域社会づくり」  
さらに力を入れる必要のある取組回答割合（回答者属性別）



※本図は、回答数累計に占める各取組の回答数の割合を属性別に示したものです。



(3) 人と自然が調和した美しく安全な県づくり

<概要>

■県全体

「内容について知っている」「言葉は聞いたことがある」を合わせた『認知群』は39.1%である。

■性別

男性の『認知群』は39.8%で、県全体より0.7ポイント高い。

女性の『認知群』は38.7%で、県全体より0.4ポイント低い。

■年代別

65歳未満の『認知群』は34.9%で、県全体より4.2ポイント低い。

65歳以上の『認知群』は52.2%で、県全体より13.1ポイント高い。

■地域別

沿岸部の『認知群』は38.0%で、県全体より1.1ポイント低い。

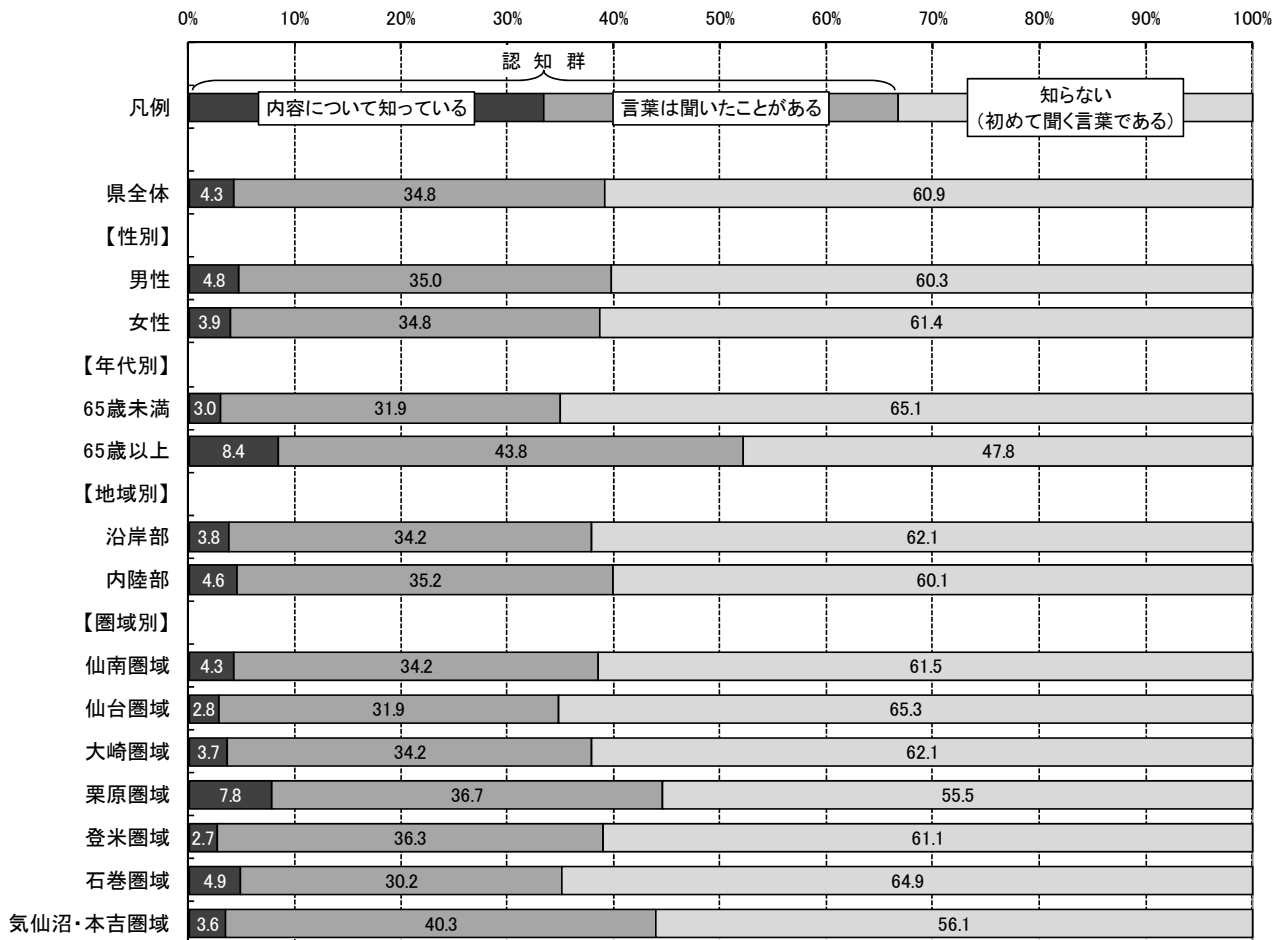
内陸部の『認知群』は39.8%で、県全体より0.7ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『認知群』は、栗原圏域が44.5%で県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

人と自然が調和した美しく安全な県づくり 認知度割合 (回答者属性別)



人と自然が調和した美しく安全な県土づくり 認知度集計表 (回答者属性別)

		有 効			合計	欠 損 値	合 計
		内容について 知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない (は じめて聞く言 業である)			
県全体	度数 パーセント	81 4.0/4.3	656 32.3/34.8	1,146 56.5/60.9	1,883 92.8/100.0	147 7.2/	2,030 100.0/
<b>【性別】</b>							
男性	度数 パーセント	44 4.4/4.8	323 32.5/35.0	557 56.0/60.3	924 93.0/100.0	70 7.0/	994 100.0/
女性	度数 パーセント	37 3.6/3.9	332 32.3/34.8	586 57.0/61.4	955 92.9/100.0	73 7.1/	1,028 100.0/
<b>【年代別】</b>							
65歳未満	度数 パーセント	43 2.9/3.0	453 30.4/31.9	926 62.2/65.1	1,422 95.5/100.0	67 4.5/	1,489 100.0/
65歳以上	度数 パーセント	38 7.2/8.4	199 37.5/43.8	217 40.9/47.8	454 85.5/100.0	77 14.5/	531 100.0/
<b>【地域別】</b>							
沿岸部	度数 パーセント	29 3.5/3.8	263 31.8/34.2	478 57.9/62.1	770 93.2/100.0	56 6.8/	826 100.0/
内陸部	度数 パーセント	51 4.3/4.6	389 32.6/35.2	664 55.7/60.1	1,104 92.6/100.0	88 7.4/	1,192 100.0/
<b>【圏域別】</b>							
仙南圏域	度数 パーセント	11 4.0/4.3	88 32.4/34.2	158 58.1/61.5	257 94.5/100.0	15 5.5/	272 100.0/
仙台圏域	度数 パーセント	8 2.7/2.8	91 30.7/31.9	186 62.8/65.3	285 96.3/100.0	11 3.7/	296 100.0/
大崎圏域	度数 パーセント	10 3.5/3.7	92 32.4/34.2	167 58.8/62.1	269 94.7/100.0	15 5.3/	284 100.0/
栗原圏域	度数 パーセント	22 7.1/7.8	104 33.4/36.7	157 50.5/55.5	283 91.0/100.0	28 9.0/	311 100.0/
登米圏域	度数 パーセント	7 2.4/2.7	95 32.8/36.3	160 55.2/61.1	262 90.3/100.0	28 9.7/	290 100.0/
石巻圏域	度数 パーセント	13 4.6/4.9	80 28.2/30.2	172 60.6/64.9	265 93.3/100.0	19 6.7/	284 100.0/
気仙沼・本吉 圏域	度数 パーセント	9 3.2/3.6	102 36.3/40.3	142 50.5/56.1	253 90.0/100.0	28 10.0/	281 100.0/

上段：度数

下段：欠損値を含む合計からの割合/有効回答からの割合

## 【さらに力を入れる必要のある取組】

「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」において、さらに力を入れる必要のある取組について調査した。(複数回答可)

### 「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」を進めるための7つの取組

- 1 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献
- 2 廃棄物等の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進
- 3 豊かな自然環境，生活環境の保全
- 4 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
- 5 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実
- 6 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進
- 7 地域ぐるみの防災体制の充実

#### <概要>

■県全体及び属性別（性別・年代別・地域別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年代別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	3	3	5	5	3
第2位:	5	6	3	3	7
第3位:	6	5	6	6	5

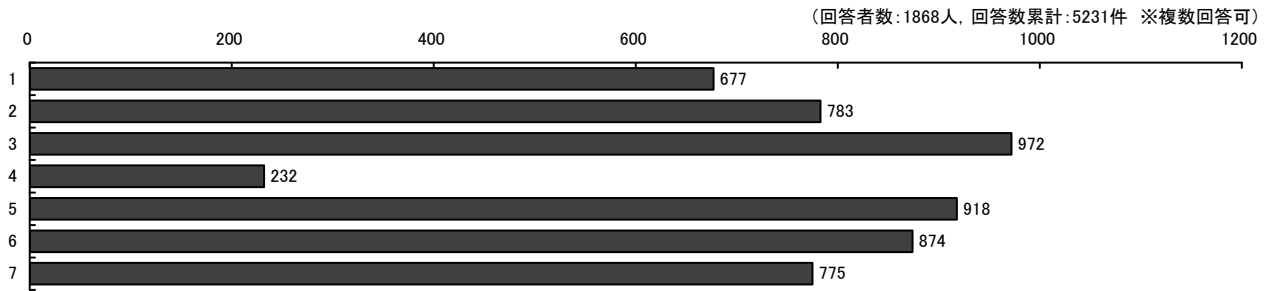
	■地域別	
	沿岸部	内陸部
第1位:	5	3
第2位:	3, 6	2
第3位:	-	5

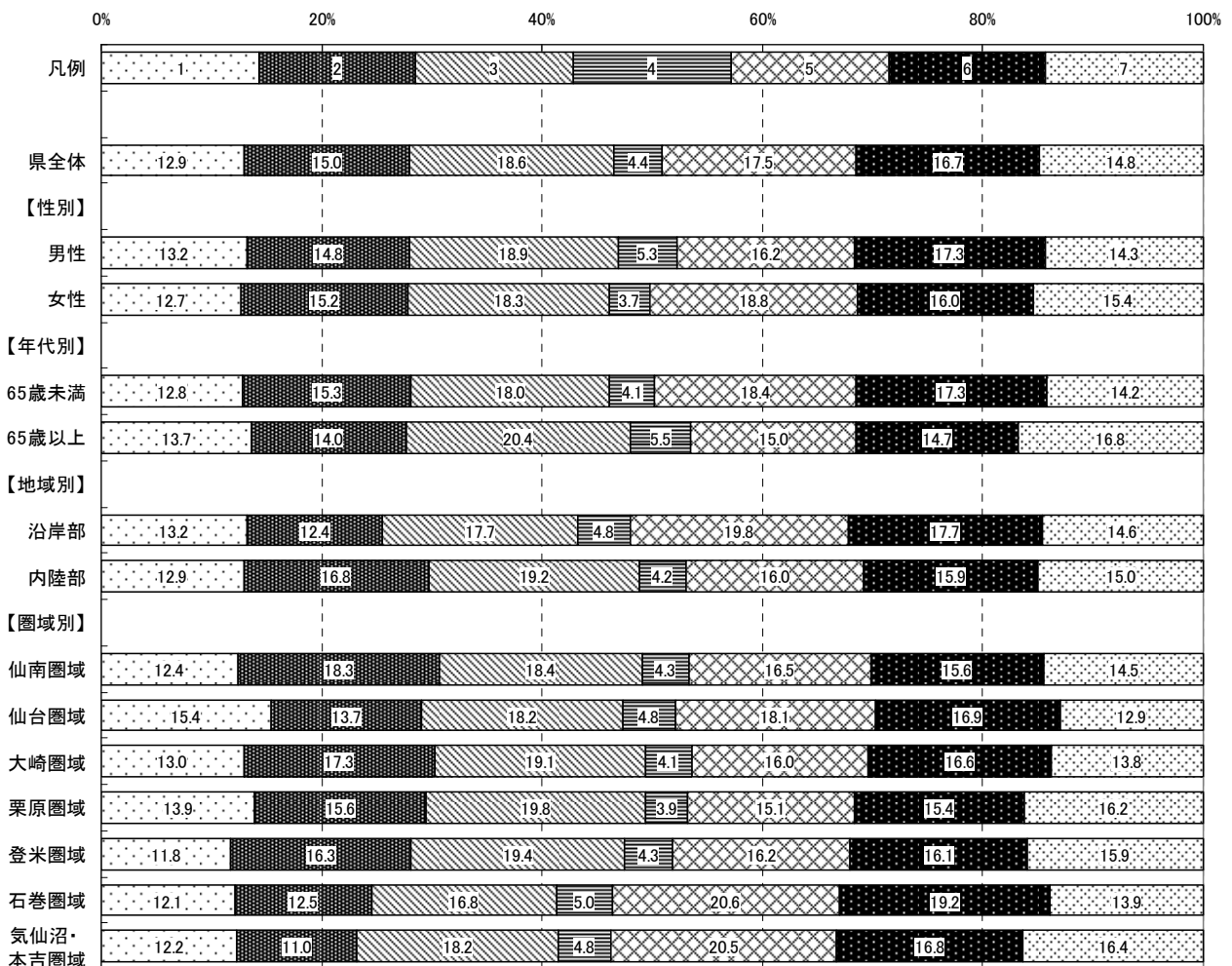
	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	3	3	3	3	3	5	5
第2位:	2	5	2	7	2	6	3
第3位:	5	6	6	2	5	3	6

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、取組番号を網掛けしている。

「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」  
さらに力を入れる必要のある取組回答数（県全体）



「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」  
さらに力を入れる必要のある取組回答割合（回答者属性別）



※本図は、回答数累計に占める各取組の回答数の割合を属性別に示したものです。